

# 「ゆっくり育て子どもたち」

著者：鍋谷まこと

- ・対象：子育て中の親
- ・方法：母親たち、または複数の夫婦たちでの読書会、分かち合いに。
- ・回数：单元ごと5回

## 1. この本を読むにあたって

**著者：**鍋谷まこと

小児科医。1962年兵庫県生まれ。牧師家庭の3男として育つ。妻と長男の3人家族。

広島大学医学部を卒業後、1988年、神戸大学小児科学教室等を経て、姫路市総合福祉通園センターで、8年間、発達障害、身体障害、てんかんなどの神経疾患の診療に従事。

2004年から淀川キリスト教病院小児科にて診療。

**出版社：**いのちのことば社フォレストブックス

**出版年：**2012年

### 本の要点：

発達障害を専門とする小児科医として働かれる著者が、実際に多くの親子の「育つ」こと「育てる」ことにまつわる悩みに接し、その経験の中で学んできたことが記されています。「つらさを抱えた家族と共に歩む旅」を小児科医として続ける著者が専門とする分野だけでなく、子育てをするすべての親たちに向けて忘れがちとなる大切な部分を気づかせ、悩みの解決のヒントを与えてくれます。

### 本の内容：

#### 第1部「発達相談室のカルテから」

##### 1章「育てにくさという悩みに」

著者の専門である発達障害についての説明、また診断における落とし穴について、そしてその障害に対する向き合い方について記されています。

##### 2章「個性豊かな子への七カ条」

LD（学習障害）など明らかな発達障害は認められなくても、「落ち着きがない」「怒りっぽく感情のコントロールができない」など個性を持っている子どもとの関係、その悩みに対する七つのアドバイスが記されています。

## 第2部「すべての親に伝えたいこと」

### 3章「できる子」より「その子らしく輝く子」に

競争社会の中で、他との比較を余儀なくされている子どもたち。それは親も同じことだと読んでいて気がつかせられます。この章では「その子らしく輝く子」に育つために必要な心構えや、接し方について記されています。

### 4章「子育て悩み別アドバイス」

子育てをしていると誰も感じる問題、ストレスがあります。「欲しがる子どもに何をどう与えるか」「夜泣き・睡眠の悩み」など実際的な子育ての課題についてアドバイスが記されています。

### 5章「遊び」が人を育てる

著者は「子どもを理解したいと願うのなら、子どもの『遊び』の世界を理解するように努め、一緒に遊ぶようにすればいいのです。そうすれば、子どもの考えていることや…子どもの能力にも気づき、その子ども本来の良さが見えてくるのです。」と言います。しかし一方で著者は「遊び」の中毒性など負の部分も認めています。その上で投げかけている「遊び」の重要性には誰もが考えさせられることでしょう。

## 2. 確認コーナー

### 第1部

1章 発達障害等について、今までの向き合い方について改めさせられた部分はあるでしょうか。

また、自分や社会、教会の中での障害に対する見方、現状はどのようなものだと思いますか。

2章 それぞれの子どもの個性、「落ち着きがない」「怒りっぽく感情のコントロールができない」などにどのように向き合っていますか。

### 第2部

3章 競争社会の中で子どもをどのように見ているでしょうか。

その子らしく輝く子になるためのアドバイスの中で特に心に留ま

った部分を分かち合ってみましょう

4章 あなたにとって子育ての中で一番のストレスになっているものは何でしょうか。

その解決に必要なものは何だと思いましたか。

5章 子どもの遊びにおける良い部分、また悪い部分は何だと思えますか。

その遊びの中でどのような部分を共有していこうと思えますか。